

芥川

龍之介

×



河童

菊池寛記念館コレクション展

＊ 期 間　令和元年７月２７日（土）　～ ９月８日（日）

月曜日休館（ただし８月１２日は開館、８月１３日は休館）

＊ 時 間　9時～17時（入館は16時30分まで）

＊ 場 所　サンクリスタル高松3階　菊池寛記念館　研究閲覧室

＊ 観覧料　無料（ただし常設展示室は入館料が必要です）

＊ 問合せ　０８７－８６１－４５０２

芥川龍之介は妖怪好きでした。第一高等学校時代には、「」と題するノートをこしらえ、人から聞いた怪談や文献などで集めた怪異譚を整理して書きつけています。

その中でも芥川が特に関心を持ったのが日本に広く伝わっている河童の存在です。芥川は２０代後半頃から晩年にかけて河童を描いた墨絵を幾つも残し、亡くなる約５ヶ月前には「河童」というタイトルの小説を発表しています。

芥川の描く河童は、自身が投影されていることから、芥川の自画像であるとも言われています。今回の展示から、芥川の自己像の一端を感じ取っていただければ幸いです。

ＫＡＰＰＡ

ＲＹＵＮＯＳＵＫＥ　ＡＫＵＴＡＧＡＷＡ